

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 砂防指定地内河川 常清滝川 通常砂防事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 砂防 構造物基礎

ボーリング名	Bbr-4		調査位置	広島県三次市作木町下作木			北緯	34° 51' 53.2398"		
発注機関	広島県北部建設事務所			調査期間	2023年 3月 17日 ~ 2023年 3月 23日		東経	132° 43' 15.6115"		
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	T.P. 149.27m	角	180° 上下 90° 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 20°	使用機種	東邦地下工機D-B58	
総削孔長	8.00m					エンジン	ヤンマーNFD-13		ポンプ	東邦地下工機EG3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	地質記号	地質事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試験採取番号	採取方法	室内位置試験	削孔月日		
													深度-N値図		N値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量					50回の貫入量	自沈時の貫入量
1	148.77	0.50	黄混じり砂質土	砂礫	暗茶						細砂主体。粘土分少量含有。径20mm程度の亜角礫少量混入。表層15cm程度木片混じる。	09.23 2.00	1.15	1	3	7	300	1.15	P4-1	○			
2	146.67	2.60			暗茶		rd2				中〜粗砂と径20〜30mm程度の亜角礫主体。深度深くなるにつれ、礫分増加する。	2.70	1.45	11	8	31	50	2.32	P4-2	○		3/17	
3			玉石混じり砂礫		暗褐色		rd5				中〜粗砂と径20〜30mm程度の亜角礫主体。コア長5〜15cm程度の硬質な礫や玉石や存在する。深度4.30m以深、玉石密集。	2.70	2.40	50		50	100	2.32	P4-3	○			
4	144.47	4.80			暗茶						基礎の流紋岩。軟岩II。コアは岩片状で採取。深度5.30mまでは風化が進み褐色を呈する。ハンマー打撃により鈍い金属音がする。	09.23 2.00	3.35	15	35	50	170	3.45	P4-4	○			
5					暗茶						基礎の流紋岩。軟岩II。コアは岩片状で採取。深度5.30mまでは風化が進み褐色を呈する。ハンマー打撃により鈍い金属音がする。	09.23 2.00	4.15	50	70	50	0	4.22					
6					暗茶						基礎の流紋岩。軟岩II。コアは岩片状で採取。深度5.30mまでは風化が進み褐色を呈する。ハンマー打撃により鈍い金属音がする。	09.23 2.00	5.00	50	0	50	0						
7	142.27	7.00			暗茶						基礎の流紋岩。軟岩II。コアは岩片状で採取。深度5.30mまでは風化が進み褐色を呈する。ハンマー打撃により鈍い金属音がする。	09.23 2.00	6.00	50	0	50	0						
8	141.27	8.00			淡灰						基礎の流紋岩。中硬岩。コアは棒状で採取。比較的新鮮である。ハンマー打撃で金属音がする。	09.23 2.00	6.00	50	0	50	0						
9													8.00	50	0	50	0						